

## 年頭所感

新年明けましておめでとうございます



奈良県弓道連盟でも4日の大和神社御弓始祭には始まり、6日の射初め会には、153名もの多数の参加を得て、平成20年がスタートしました。

今年は役員改選の年に当たり、射初め会終了後、臨時評議員会を開催し、会長留任ということを決めていただきました。当初、3期6年を目途に会長をお引き受けいたしましたが、もう一期務めさせていただくことになりました。

射初め会での講評で、射会を運営していくに当たり、流れをつかみ、空気を読んで、その中で自分をどう活かし、集中させることが大切だと述べました。

連盟を運営していくにも、同じことが言えるのではないのでしょうか。

あらためて、会員各位のご協力・ご支援をお願いして、年頭の挨拶と致します。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

## ■ 臨時評議員会 報告

平成19年度も残り3ヶ月役員改選期(規約第9条)となり新年早々、臨時評議員会を開催しました。

4月評議員会までに平成20年度、21年度の組織作りをするためにこの時期、評議員の方々にお集まりいただきました。

結果、吉本会長が再任される事、満場一致で決定しました。吉本会長には、日弓連の理事、講師、中央審査員と多忙な中、再任をお受けしていただきました。

今後、連盟行事(講習会、競技会、審査会)連合会行事には副会長の先生方をお願いすることが多々あると思いません。

連盟の全てを知っていただいています、現副会長の井倉先生に相談役を務めていただくことになりました。

20年度、21年度の副会長は、須田三郎先生、竹村邦夫先生、中埜広樹先生、新司正人先生、深田紀美子先生、福井修先生(高体連)に再任していただき、西中が副会長、兼理事長を務めさせていただくことになりました。

奈良県弓道連盟は会長、スタッフだけで運営していくものでなく、会員の皆さんの全員参画により、スムーズな活動ができるようご協力よろしく願います。

次に、一部規約改定について話し合われました。財務部から、現行第21条(会計年度)について提案されました。会計年度が4月1日から翌年3月31日では、4月評議員会までに日がなく、3月の理事会では見込み決算報告となり、十分な監査もできないとの理由で、毎年3月1日に始まり翌年の2月末日に終わる。様に改めることが承認されました。

連絡事項として、

(1) 高体連から平成20年度インターハイプレ大会、平成21年度インターハイが橿原体育館(仮設)で行われます。連盟の皆様のご協力をお願いします。

(2) 奈良県弓道連盟の公式ホームページ開設を検討していく。

(3) 20年度の9月連合会審査会が橿原で実施されます。来年に向けて、各部長、副部长、部員の選任を急ぎます。個々の行事が滞りなく運営できるよう意見、発案、ご協力の程、よろしく願います。

西中 正

## 第3回 近畿中学生弓道会 結果報告

12月22日(土)に『第3回 近畿弓道連盟連合会中学生大会』が大阪城弓道場において実施されました。この日は、朝から雨が降る一日で、したいに気温も下がり、小雨から本降りとなる悪天候の中で試合が実施されました。

開会式で、奈良県弓道連盟吉本会長から「この大会は2年前『都城全国中学・高校弓道大会』の出場をかけた近畿の予選会を兼ねた大会として始められたものですが、残念ながら、2回目の都城全国大会が実施されなくなりました。そのことで近畿の予選会をどうするかという問題が残りましたが、近畿大会として継続していくことに決まり、第3回を迎えることが出来ました。」「今回は昨年までの奈良・兵庫に加え、京都・大阪からも参加され、近畿大会に相応しい大会となりました。」と今大会の経緯と参加校(府県)が大幅に増えたことについて、

< 近畿中学生弓道大会 報告続き >

説明をして頂きました。

参加校は以下の通りですが、兵庫を初め、他府県の弓道部を有する学校がほとんど私学であるため、実施時期を調整しながら、今後も近畿大会に多くの参加府県・チームが出場出来るように取り組んでいく必要があると感じました。

【参加校】

府県名	中学校名
大阪府	浪速中学校
京都府	洛星中学校
兵庫県	三田学園中学校、甲南中学校、六甲中学校 甲南女子中学校、報徳学園中学校
奈良県	香芝中学校、橿原中学校、白橿中学校 大成中学校、天理南中学校、八木中学校

参加チーム数 男子34チーム 93名  
女子22チーム 65名

競技：各人 近的 各12射

試合結果

《団体の部》

順位	男子	女子
優勝	八木中Aチーム【20】 (堀江・和田・飯田)	香芝中Dチーム【15】 (弥富・松田・畑山)
2位	白橿中Aチーム【19】 (兼近・山本・日置)	橿原中Bチーム【14】 (小倉・大島・仁田)
3位	橿原中Bチーム【18】 (上田・福辻・光岡)	甲南女子中Aチーム【14】 (福田・貴田・乾)

男子3位 香芝A・白橿B・三田C・橿原Bが同中競射の未決定。

女子2・3位 甲南女子A・橿原Bが同中競射の未決定。

《個人の部》

男子

白橿中	階戸 尊	11中
天理南中	松本 僚太	10中
橿原中	上田 慎也	9中

女子

香芝中	大月 千佳	7中
白橿中	中町 綾	6中
香芝中	弥富 志笑	6中

6中が5名、競射にて3位を決定。

新年射初会 兼 支部・地区対抗戦

平成20年 1月6日〔日〕

県立橿原公苑弓道場 参加者 153名

穏やかな新年の日差しの中、平成20年最初の射会が行われました。開会式では、吉本会長より「光陰矢の如し、一年は直ぐに過ぎてしまいます。また、一寸光陰不可軽とも言われるように一日を大切に練習して下さい。」とご挨拶をいただき、矢渡し《射手 吉本会長 介添え 深田・新司両副会長》の後に射会が行われました。

支部対抗戦

1位	天理	60中
2位	奈良	54中
3位	奈良医大	49中

トーナメント戦

1位	奈良A	〔山口・矢野・山城〕
2位	郡山C	〔松井・佐竹・大西〕
3位	しらかしB	〔原田・小野・土居〕
	天理C	〔長田・松川・真浦〕

閉会式では、再び会長より「立射の体配に注意をして競技会を通じて全体の流れ、空気を勉強して欲しい。多数の人が参加をしてもらったが雑然としてした射会になってしまいました。肅々とした良い射会になるようにしていく事を今後の課題として欲しい。」との講評を頂き閉会しました。

【競技部より】

射初会では150名を超える参加者の為、制限時間6分を越えた場合は失格とすることにして運営をしました。参加された皆様の御協力により、失格するチームも無くスムーズに射会を行うことが出来ました。今後も制限時間を守って行射をして頂く様宜しくお願い致します。

<競技部 松田 仁>

大和神社御弓始祭に奉仕して

一月四日、天理の大和神社(おおやまとじんしゃ)での古式ゆかしい三々九手挟式(さんさんくてばさみしき)〔的になる板の形態からそう呼ぶのだそうです〕に射手として初奉仕させていただきました。今年成人式を迎える次女も矢取りの役を仰せつかり、やや(かなり?)母親の方が派手色の水干をまとい頭には烏帽子という装束をつけさせていただきました。

行射は小笠原流に則った所作で行われ、前弓と後弓五人ずつ組んで的中を競います。本来は前弓の方が熟練者で構成されるところを、今回は五人中四人がまったくの初参加者、十分な練習もできず二回がやっとという人達の組ができて、なんだかんだ不安だらけの内に本番を迎え、残念ながら前弓の四人が二本とも外し、落ちの私がやっと乙矢を入れさせていただきました。

参拝者も何時、中るか待ちに待った最初の的中、板の割れる音と共に盛大な拍手と歓声が湧き、いいとこ取りでうれしいやら恥ずかしいやら。勝敗は3対1で私たち前弓の負け、退場のおり負け組は蹲踞で頭を垂れて勝ち組を見送りました。

射抜いた的板に大和神社の名を墨筆にて戴き大切に家に持ち帰り高3の息子に戦艦大和に縁のある神社だと説明すると「宇宙戦艦ヤマト?」という問いが返ってきて苦笑、正直言って私も戦争を知らないマンガ世代、「やまと」と聞いて最初に頭に浮かぶのは、『ヤマト』の方でした。この親にしてこの子ありかと「ヤマトのその前!」と(話が理解できない方、すみません)笑い話にしてみました。がさまざま問題をかかえつつも一応平和な日本で生活できる事に感謝しつつ、翌日の新聞の「御弓始祭」の記事と一緒に的を額に収め「思いっきし自慢してる。」とぼやく娘を尻目にニンマリ。今年はいいことがありそうです。

(奈良支部 川嶋一代)

### 三々九手挟式について

武家社会では正月四日の弓始め式の時に限り行われた厳格な弓の儀式で文武を統べる道として天下泰平を祝う射であります。的は杉または檜の板を的として用い、前弓の板裏には十文字の切り溝を入れ、後弓の板的の裏には三寸毎に井桁の切り溝を入れる、これを串に挟んで射抜く事から井桁の数より三々九の手挟物と言われています。(一門下生)。

### 中央審査の締切が早まりました

中央審査においては、これまで1ヶ月前が全弓連の締切日でしたが、平成21年度から2ヶ月前に早くなります。次年度分もすでに受付が始まっていますので、ご注意ください。

【事務局】

### 中央審査等案内

日程	名称	県内〆切
3/15・16	(四国地区)臨時中央審査	1/25
3/21	(都城)特別錬士臨時審査	2/8
3/30	近畿地域連合審査	2/15
5/4・5	(京都)定期中央審査	2/15
5/2・3	第59回全日本弓道大会	2/15
5/6	(近畿地区)錬士臨時中央審査	2/15
5/17・18	(学生)特別臨時審査	3/21
5/24・25	(東海地区)臨時中央審査	3/7
6/8	(九州地区)錬士臨時中央審査	3/21
6/15	(中国地区)錬士臨時中央審査	3/28
6/22	(北信越地区)錬士臨時中央審査	4/4

申込は支部・団体を通して、代表者の推薦文とともに、事務局までお願いします(先回と同様であれば不要です)。



## 歳時記 「二月」 節分

節分は立春、立夏、立秋、立冬に移る時を指すのですが、今日では春の節分が代表されるようになりました。凍てついた土を分けてふきのとうがチラチラとみえるこのごろは、何か心に春の近く気配を感じるものです。

節分の翌日が立春です。大寒から十五日目が二月四日に当たりますが、春立ちそめる日の前日、豆まきが行われる風習があります。豆まきは近頃では神社行事のようになっていますが、本来は家庭行事です。鬼やらい(病気の神を追い払う行事)とも言われています。かつては疫病神を追い払うために大晦日の夜に行われていました。医学が発達していない時期に、病気を恐れた一つの民間的な習慣であったと思われま。

節分の大豆は煎って枘の中に入れて神に供えます。まず表口から始めます。鬼は外、福は内、福は内と声高に叫びながら豆をまき、素早く戸を締めます。つぎつぎに主な出入りグチに豆をまいていきますが、豆をまくことを豆を打つといいました。鬼を討つ意味です。豆を打つのは一家の主人が一般的です。まいた豆の残りは家族が自分の年の数だけ食べるなどの風習があります。

その他地方によっていろいろおもしろい風習が伝わっています。いわしの頭を柵(ひいらぎ)の枝につきさして門口にはさんでおくと言う習慣も京都など、古い街にみられます。年越しの夜に悪い鬼が出てきて人をさらうという伝承によるものですが、いわしの頭はその悪臭を鬼がきらい、ひいらぎのとげは鬼の侵入を防ぐと考えられました。悪い病、疫病を恐れた昔の人の心を示す一方、厳寒に耐える常緑樹のひいらぎの強さと、農事の大切な肥料である、いわしが結びついたものとも思われます。

「小笠原流マナー」著者小笠原清信 グラフ社発行より

中壘大学藤原孝澄(中壘広樹)

編集後記：今月号から編集担当となりました。皆様のご指導、助言を得ながら少しでも読みやすいものになるよう微力ながら努力してまいります。よろしくお願ひいたします。伊藤 浩